

## 令和4年度 事業報告書

### 1 第17回大分県障がい者スポーツ大会開催事業(県委託事業)

- ・ 参加選手の抗原検査(簡易キット)の実施や事前の体調確認、当日の検温等、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、3年ぶりに下記のとおり開催
- ・ 当協会が主管する個人競技5競技に延べ592名(実人員408名)が参加

#### ①県障がい者スポーツ協会主管競技(5競技)

競技	実施日	会場
ボッチャ(身)	5月21日(土)	別府市総合体育館(メインアリーナ)
水泳(身・知・精)	5月22日(日)	大分市営温水プール
卓球(身・知・精)	5月22日(日)	大分県身体障害者福祉センター
陸上競技(身・知・精)	5月29日(日)	昭和電工ドーム大分
フライングディスク(身・知・精)		昭和電工グラウンド

#### ②障がい者スポーツ団体主催・主管競技(2競技)

競技	実施日	会場
アーチェリー	5月21日(土)	別府市営実相寺アーチェリー場
卓球(身・知・精)	5月22日(日)	タワーボウル植田店

### 2 第22回全国障害者スポーツ大会派遣事業(県委託事業)

- ・ 「いちご一会とちぎ大会」(令和4年 10月 29日(土)～31日(月))  
会場:カンセキスタジアムとちぎ陸上競技場 他
- ・ 大分県選手団 52名(選手 25名、役員27名)が参加し、金メダル10個、銀メダル5個、銅メダル 8 個、計23 個のメダルを獲得

### 3 第41回大分国際車いすマラソン開催事業(県委託事業)

#### (1)事業概要

- ・ 令和4年 11月 20日(日)午前 10 時、大分県庁前をスタート、ジェイリーススタジアム(大分市営陸上競技場)をフィニッシュとする国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コースで実施

#### (2)レース概況

- ・ 海外12カ国から25名、国内30都府県から133名、計158名が出走。うち、マラソン 41名、ハーフマラソン110名、計151名が完走した。
- ・ マラソン男子では、T51 クラスでピーター・ドゥ・プレア選手(南アフリカ)が従来の世界記録を27年ぶりに更新し、大会6連覇を成し遂げた。
- ・ また、最速クラスの T34/53/54 でマルセル・フグ選手(スイス)が、大会4連覇、通算

10度目の優勝を果たした。

- ・ T33/52 は、佐藤友祈選手(岡山県)が4度目の優勝を飾った。
- ・ マラソン女子では、T34/53/54 で土田和歌子選手(東京都)が激戦に競り勝ち、7度目の優勝を果たした。

4 東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業(県委託事業)

- ・ 国際大会へ出場、あるいは出場を目指す選手が集中して取り組める環境を整備するため、県内企業に対し障がい者スポーツ支援に関する理解促進を図った。(12回実施)
- ・ 障がい児者が身近な地域で恒常的にスポーツできる環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブを訪問し協議(5クラブ)

5 障がい者スポーツ団体振興事業(県補助事業)

- ・ 障がい者スポーツ団体が開催する県大会経費及び九州大会等への参加経費に対し助成(県大会開催:11団体、九州大会等参加:9団体)

6 障がい者スポーツ団体地域活動支援事業(県補助事業)

- ・ 障がい者スポーツ団体が実施する練習会の経費等に対し助成(14団体)

7 チーム大分・未来のスター発掘プロジェクト事業(福祉医療機構助成事業)

- ・ スポーツに興味がある障がい当事者が複数の競技を一度に体験し自分に合った活動を見つけられる「チーム大分・未来のスター発掘プロジェクト」を開催(3か所)

実施日・参加者数	会場・実施競技
令和5年1月28日(土) 【参加者数】17名	臼杵市諏訪山体育館 陸上・ボッチャ・卓球・スポーツチャンバラ
令和5年2月18日(土) 【参加者数】16名	杵築市立杵築中学校 陸上・ボッチャ・卓球・パワーリフティング
令和5年2月25日(土) 【参加者数】30名	中津東体育館 陸上・フライングディスク・卓球・車いすフェンシング

- ・ 障がい者スポーツの理解促進等を目的に、特別支援学校、福祉団体、公民館、小中学校等で障がい者スポーツ体験会を開催(44か所、のべ3,859名参加)

8 障害者スポーツ実施環境の構築支援事業(日本パラスポーツ協会委託事業)

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により生じた障がい者の運動離れ等に対応し、障がい者が主体的に運動・スポーツに取り組めるよう、スポーツ施設等に用具等を整備(8競技・14種類の用具整備)

- 9 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(日本パラスポーツ協会受託事業)
- ・ 公益財団法人日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員(初級)の養成講習会を開催(23名受講)  
日時:令和4年7月30日(土)、31日(日)、8月7日(日)  
場所:太陽の家コミュニティセンター 等

10 表彰事業(自主事業)

- ・ 障がい者スポーツの振興を図るため、障がい者スポーツの功労者及び前年度に活躍した団体及び選手を表彰  
令和4年7月22日(金) 表彰式(県庁正庁ホール)  
1団体・15名を表彰

11 広報事業(自主事業)

- ・ 協会ホームページを開設し、障がい者スポーツ情報を広く発信
- ・ 広報誌「障スポにゆ〜す」を年3回発行(賛助会員募包含む)  
令和4年7月 :Vol.48 1,000部発行  
令和4年10月:Vol.49 1,000部発行  
令和5年2月 :Vol.50 1,200部発行

12 サントリー チャレンジド・アスリート奨励金(サントリーホールディングス(株)受託事業)

- ・ 国内外の大会で活躍が期待される若手アスリートを推薦・決定  
松島 光明選手 (別府市 33歳)  
(陸上競技(投てき、競技歴9年)、F40クラス～低身長)
- ・ 対象アスリートの競技力向上及び投てきの普及につながるワークショップは、受託料を全額繰越して、令和5年度に実施

13 理事会・専門委員会の開催

(1)理事会

- ・ 第1回 令和4年5月17日(火)
- ・ 第2回 令和5年3月24日(金)

(2)専門委員会

- ・ 第1回スポーツ大会委員会 令和4年6月14日(火)
- ・ 表彰委員会 令和4年6月28日(火)
- ・ 第2回スポーツ大会委員会 令和5年2月3日(金)